

Q1 あなたが松川に住んで良いと感じる様々なことの中で、一番と思えるものを書いてください。

Q2-a 人口減少が始まっている現在、あなたが住んでいる地域で起きている問題や生活の中で実感として感じていること、これから人口減少が進むにつれてあなたの生活や地域活動等で不安に思うことを話し合ってください。

Q2-b 不安だけではなく人口減少時代においても豊かな暮らしを松川町で過ごすために大切なことを話し合ってください。

- ・空気と水が美味しい
- ・山（アルプス）がきれい
- ・果樹園
- ・祭り等の行事に皆が一丸となって取り組んでいるところ
- ・程よい人、自然、地域性
- ・住みやすい
- ・生まれて64年、これまでの生活での全てが一番と思っています
- ・松川在中37年、住みよい環境だった駅・学校・商店があり、子育てには良かった

- ・子どもが少ない→部活が維持できない・チームがギリギリPTA役員も何度もやらないといけな
- ・自治会役員が低年齢化→仕事があるので役割を全うできない→仕組みを考えないとダメ、

- ・家族が減っていく（自分の家も）
- ・若い人が入ってこない
- ・遊休農地→今はカバーしているが負担が大きくなってきた（田は難しい。二年休むと田に戻りにくい）
- ・昔は元気なおじいちゃんおばあちゃんがいたが、最近はいない
- ・体が動かない人も増えた→気持ちが萎えた

- ・独り暮らしのお年寄りにどこまで関わっていいのか
- ・外から帰ってきたら思っていたより地元が元気で楽天的に人口減少に気付かないふりでいっても良いかも

- ・農作業の合間のお茶は楽しい
- ・親が楽しそうだったから帰ってきた
- ・ICと果樹は強み

福与保育園勝手に応援し隊

少なくともまとまりのある地域
地域のサポートがすごい
子供と地域が世代関係なくつながる
大人の方がすごいうれしそう

◎共通の問題を抱えると協力して考えられる。
◎生活が便利すぎると逆にダメかも

- ・空気や水がきれいで野菜や米も味がいい
- ・山が有り、川が有る
- ・自然豊かな事
- ・我が家から見える山々の風景、一年違うのが楽しい
- ・地域の人が成長を見守ってくれている
- ・近くに友達がいる
- ・松川インターがある

- ・役が回ってくる→自治会を抜ける人が増える
↑
会議に出たくない
組織の数は減らない←高齢化

- ・町民運動会←昔はけっこう人がいた
- ・学校の人数が減っている
- ・空き家の増加（人がいない、歩いていない）
- ・車がないと生活できない
- ・帰ってきて働く場所がない
やりたいことができない（美容・エステ・ネイル）
- ・農家も減る→来るのは50代以上
- ・あらい商店街、数年でさらに店が減るかも

親が子供を外で遊ばせない。生活の利便性を追い求める
遊ぶところがない←遊び方を知らない

◎お年寄りを見習う

健康 ・マレット ・朝練 ・野菜の種類
を教える 受け入れ（中学・高校）

・体験や経験ができるまちづくり
親が興味を持つ→子どもが興味を持つ

清流苑 フォレスト 釣り堀 連携

- ・シェアハウス等仕組みをつくる
- ・人が来てくれれば良い
- ・地元では人が働きに来なくても20代で県外から来る人もいる

情報

- ・自然が色々（場所によっていろんな風景がある）
- ・人が温かい、熱い（情熱がある）団結力があり、仲間を大切に尊重してくれる
- ・地域のイベントや商店街、各団体の活動が活発で町全体に活気を感じる
- ・人と人とのつながりが強い。そのつながりも年齢を問わず幅広い関係でつながれている点
- ・子育てを通して地域の方とのつながりがある、地域の大切な子ども達。
- ・地域の行事や作業に積極的に参加する状況が来ている。
- ・インターがある

◎地域の戸数が明らかに減っている
なぜか？⇒・結婚後、町外へ住んでしまう（家を建てる）

- ・土地が高い・借家も高い
- ・仕事の関係
- ・小学校の統合→遊び相手・塾→地区外へ

◎今住んでいる人たちが「良い」と思えないといけ

- ・情報発信も大切
- ・行政の職員の対応も重要

◎担い手が減っている

なぜか？⇒・農業の高齢化→後継者不足
・大型機械を持っている人に集中→なかなか機械を買い換えられない。
・行事等は何とか維持
←人口減少+親の考え方

- ・行事の意味など、伝えられる人がいるうちに伝えることが大切
- ・子どもの体験
- ・どうしたら継続できるか考える必要
→少人数でもできる方法、負担を減らす

- ・遊休農地は増えていない
→農地の効率の良い集積が必要

- ・都会から来た人は町の良さを知っている
- ・空き家を仕事場にしている

- ・若い人、帰ってきたいと思っている人はいる。
→若い人達のつながりが必要

- ・豊かな自然の中で生活できる
- ・四季によって変わる南アルプスの風景
- ・くだもの里→段丘があって、くだものなど農産物が多い、自然豊かな所
- ・桜の木がたくさんあり、隠れたお花見の穴場がある。
- ・温かい人のつながり
- ・生まれた所 安心
- ・生まれて育って良かった。気心知れて親しみやすい

- ・消防団のなり手がいない
- ・お祭り当番の担い手
- ・自治会の高齢化、役員のなり手

- ・学校のクラス減少（子どもの減少）
- ・自治会役、学校役員の数は変わらないが、戸数が減る→何度も役をやらなければならない
- ・子育て世代の同級生が県外へ←仕事がない、給料が安い→子育て世代には厳しい

- ・車社会→人と会わない
- ・コミュニティがうすくなってきている
- ・子どもの行事も減っている
- ・若い世代がいない、世代交代ができない

◎大人になっても年をとっても“松川”で良かった
なと思えると良い

- ・井戸端会議 外でも居場所がある
- ・地域愛を子どものころから育てる（地域の行事への参加などで）
- ・核家族ではない、子どもをみれる家族がいる
- ・子育て世代が働ける企業の誘致
- ・生きがいを持ってやることがある、仲間がいる（仕事、趣味、ボランティア）＝人との関わり
- ・男性は目的のある活動
女性はおしゃべりだけでもいい } 集まれる
”やるぞ”と最初に声をかける人
- ・趣味の同好会が多い
- ・松川町だと年をとってから”やること”がたくさんある。
- ・地区同志が知り合う機会・地区がつながっていくことがある
- ・全員が上手につながっていると魅力が感じられる地域
- ◎目的・生きがいをもみんなが持てるとつながりができる、地域の魅力になる